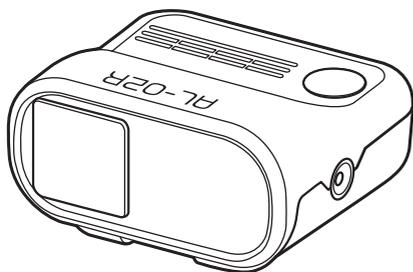


レーザー受信機

AL-02R[®]

取扱説明書

この度は、弊社製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。
 ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本機を正しくお使いください。
 なお、お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。
 本機は、安全運転を促進する目的で製造販売しております。
 速度の出しすぎに注意して走行してください。
 また、緊急車両が接近した場合には速やかに道をお譲りください。



CONTENT

安全上の注意	2
使用上の注意	3
付属品の確認	4
各部の名称と機能	5
取付方法<前方設置する場合>	6
直接取り付ける場合	6
マウントベースを使って取り付ける場合	6
取付方法<後方設置する場合>	7
マウントベースを使ってリヤトレイに取り付ける場合	7
マウントベースを使ってリヤガラスに取り付ける場合	7
配線方法<単体で使用する場合>	8
アクセサリーソケットから電源を取る	8
配線処理	8
ヒューズが切れた場合	8
配線方法<セーフティレダーに接続・前方で使用する場合>	9
セーフティレダーとの接続	9
配線方法<後方レーザー対応セーフティレダーに接続・後方で使用する場合>	10
セーフティレダーとの接続	10
操作方法	11
電源を入れる	11
設置方向設定の変更	11
電源を切る	11
音量の調整	11
警告音のミュート	11
LEDオフ設定	11
レーザー受信について	12
故障かな?と思ったら	13
仕様・定格	13
アフターサービスについて	14

安全上の注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明していきます。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。



誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害*の発生の可能性が想定される」内容です。
* 物的損害とは、車両・家屋・家財などに関わる拡大損害を示します。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。



この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。



この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。



❗ 本機は DC12V 専用です。他の電圧での使用は故障の原因になりますので、絶対におやめください。

❗ 走行中に本機の操作をしないでください。
* 交通事故の原因となります。

❗ 万一、故障した場合は、直ちに使用を中止してください。
* そのまま使用しますと火災や感電の原因となります。

⊘ 医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
* ベースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与えるおそれがあります。

⊘ 水につけたり、水をかけたり、また、ぬれた手では絶対に操作しないでください。
* 火災や感電、故障の原因となります。

⊘ 煙が出ている、変な臭いがするなど異常な状態のままでは使用しないでください。
* 発火して火災の原因となります。

⊘ 改造車両には使用しないでください。



❗ 運転や視界の妨げにならない場所、または自動車の機能（ブレーキ、ハンドルなど）の妨げにならない場所に取り付けてください。

* 誤った取り付けは交通事故の原因となります。

⊘ エアバッグの近くに取り付けたり配線したりしないでください。
* 万一エアバッグが作動したとき、本体が飛ばされ事故やケガの原因となります。また、配線が妨げとなりエアバッグが正常に動作しないことがあります。

⊘ 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工したりしないでください。電源コードが傷ついた場合には直ちに使用を中止してください。
* 感電やショートによる発火の原因となります。

⊘ 本機は精密機器です。分解や改造は絶対にしてしないでください。
* 発熱、火災、ケガの原因となります。

⊘ ぬれた手でシガーライタープラグの抜き差しをしないでください。また、ぬれた状態のプラグを差し込むなどの行為もしないでください。
* 火災や感電、故障の原因となります。



⊘ 気温の低いところから高いところに本機を移した場合、本機内に結露が生じることがあります。
* 結露したまま使用すると故障や発熱の原因となります。使用しないでください。

⊘ 穴や隙間にピンや針金を入れないでください。
* 感電や故障の原因となります。

⊘ 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

⚠ 夏の炎天下、真冬の駐車、湿度が高い場所ではできるだけ本機を取りはずしてください。
* 性能の劣化、本体の変形をまねく原因となります。

⚠ 本機を取り付けている、いないの状態に関わらず、速度違反や駐車違反などに関して、弊社では一切の責任を負いかねます。

使用上の注意

■取り付けについて

- ・取り付けになる車両のウィンドウが熱反射ガラスの場合、赤外線透過率が低いためにレーザーの受信がしにくい場合やできない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は車両のディーラーやメーカーへお問い合わせください。
- ・本機は、防水構造ではありません。必ず車内へ取り付けてください。
- ・本機をフロントガラスに取り付けしないでください。
- ・本機は、車載の電装機器（地上デジタルチューナー、カーナビ、ETC、カメラ、アンテナ類など）や電源ノイズの影響により、本機取り付け位置によっては、お互いの動作に影響が出る場合があります。その場合には、十分間隔をとって取り付けてください。
- ・本機にセルスター製以外のDCコードを取り付けしないでください。故障の原因となります。

■レーザー受信について

- ・本体のレーザー受信部と取締機のレーザー光源を結んだ直線上に遮蔽物が存在すると受信できません。
- ・次の場合、取締機のレーザー光が受信できない、または受信が遅くなる場合があります。
 - ・取締機が直接視界に入らない形状の道路を走行中のとき。
 - ・自車の前方に、車両、バイク、自転車や車道に飛び出した街路樹などが存在するとき。
 - ・本体のレーザー受信部に朝日や西日などが直接入射しているとき。
 - ・過度な悪天候のとき（豪雨や大雪、濃霧など）。
 - ・降雪時、ワイパー動作で拭拭されない領域により本体のレーザー受信部が隠れるとき。
 - ・レーザー光を使用した車両検知器や衝突回避システムなど安全運転支援装置を装着した車両に近づいたとき。

■アイドリングストップ車の使用について

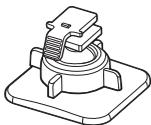
- ・一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分への供給電圧が低下することがあります。これにより本機の電源が落ちる場合があります。

■その他の注意について

- ・本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
- ・製品のデザインや仕様は、改良などのため予告なく変更する場合があります。
- ・本機の誤った取り扱いによる車両や車載品などの事故・破損・故障・損害などが発生しましても弊社では一切の責任を負いかねます。また保証なども一切ありません。
- ・本機は、安全運転を促進する目的で製造販売しております。くれぐれも、速度の出しすぎや飲酒運転は絶対におやめください。また、緊急車両が接近した際には速やかに道をお譲りください。

付属品の確認

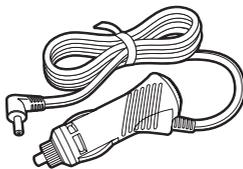
はじめに、同梱物の確認をおこなってください。



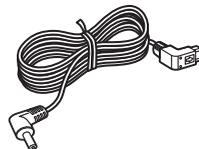
マウントベース



ボールジョイント



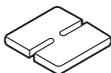
シガーライター用DCコード
(3極DCプラグ/
コード長：3.5m)



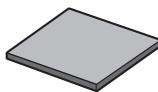
セーフティレーダー
接続コード
(3極DCプラグ/
コード長：3.5m)



両面テープ (マウント
ベースダッシュボード用)



両面テープ
(リヤガラス用)



両面テープ
(本体直付用)

取扱説明書 (本書)

* その他注意書きが同梱している場合があります。

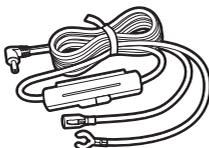
オプション

フレキシブルステー
RO-122



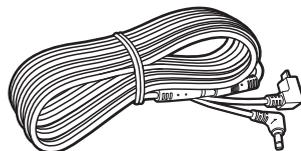
本機をインナーミラーの裏など
に取り付けるためのフレキシブル
ステーです。

直結配線DCコード(3極DCプラグ)
GDO-15 (コード長：5.0m)
GDO-26 (コード長：9.0m)



車両のヒューズボックス、ACC
線から直接電源を取る場合に使
用します。

セーフティレーダー接続コード
RO-123 (コード長：9.0m)



本機を後方受信対応セーフティレー
ダーに接続するためのコードです。

本機で使用できるオプション品は
弊社ホームページのオプション対応
表をご確認ください。

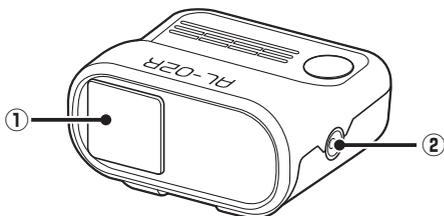


https://www.cellstar.co.jp/products/pdfs/radar_drive/taiou.pdf

各部の名称と機能

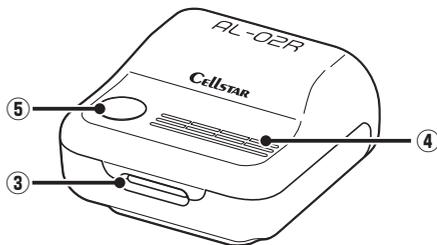
本体

【前面】



- ① **レーザー受信部**
レーザー式オービスからのレーザー光を受信します。
- ② **DC12Vソケット**
DCコードを接続し、電源を本機に入力します。
- ③ **LEDランプ**
ランプの色や点滅で本機の動作状況を確認できます。

【背面】



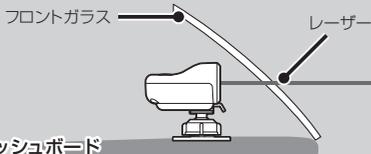
- ④ **スピーカー**
操作音や警告音を出力します。
- ⑤ **音量ボタン**
ボタンを短押しすることにより音量を調整できます。(ボタンを押すごとに、[4⇒5⇒6⇒7⇒0⇒1⇒2⇒3]の順にきりかわります。)

取付方法 <前方設置する場合>

✓ アドバイス

・本機は前方からのレーザーを受信してお知らせします。そのため本体のレーザー受信部を遮るような障害物となるものがないように本体をお取り付けください。

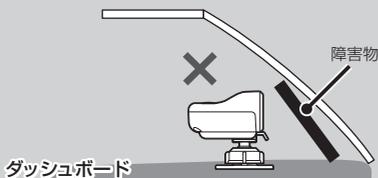
○ レーザーが届く場所



✗ レーザーが届かない場所

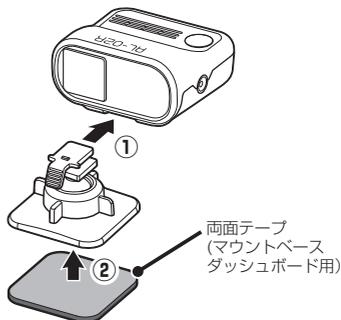
以下のような場所への設置は注意が必要。

- ・左右のAピラーの影となる場所
- ・前方が盛りあがったダッシュボード
- ・メーターフードの影

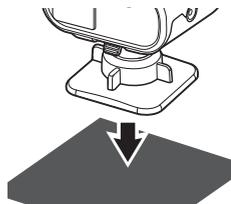


マウントベースを使って取り付ける場合

- 1 本体にマウントベースを装着し、マウントベースの裏面に、両面テープを貼り付ける。



- 2 マウントベースをダッシュボードに貼付ける。

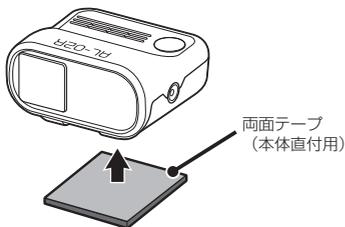


⚠ 注意

本機をフロントガラスに取り付けることは、道路運送車両法の保安基準により禁止されています。

直接取り付ける場合

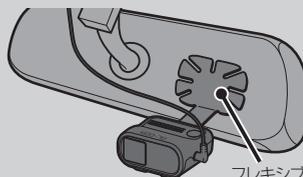
- 1 両面テープ（本体直付用）を本体の底面に貼り付ける。



- 2 本体をダッシュボードに貼り付ける。

✓ アドバイス

オプションのフレキシブルステー（RO-122）を使用することで、インナーミラーの裏などに取り付けることが可能です。



* インナーミラー裏に取り付ける場合、LEDオフ設定をオフにしてください。【➡P11】

取付方法 <後方設置する場合>



注意

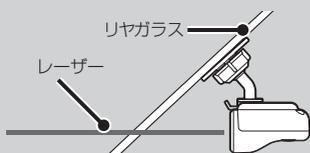
・取り付け前に設置方向設定を「後方」に変更してください。[→P11]

✓ アドバイス

・本機は後方からのレーザーを受信してお知らせします。そのため本体のレーザー受信部を遮るような障害物となるものがないように本体をお取り付けください。



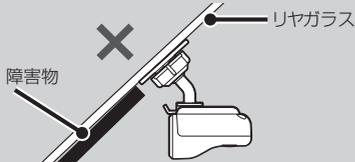
レーザーが届く場所



レーザーが届かない場所

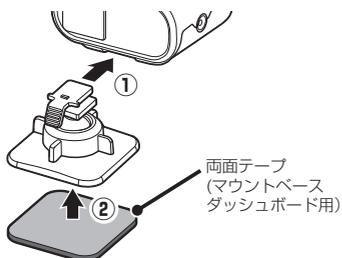
以下のような場所への設置は注意が必要。

- ・左右のCピラーの影となる場所
- ・後方が盛りあがったトランクリッドの影
- ・ハイマウントストップランプの影

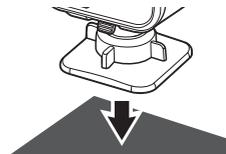


マウントベースを使ってリヤトレイに取り付ける場合

- 1 本体の底にマウントベースを装着し、マウントベースの裏面に、両面テープを貼り付ける。

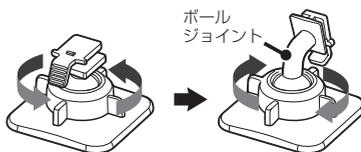


- 2 本体をリヤトレイに貼り付ける。



マウントベースを使ってリヤガラスに取り付ける場合

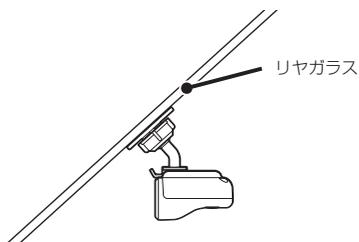
- 1 マウントベースのボールジョイントを交換する。



- 2 本体の底にマウントベースを装着し、マウントベースの裏面に、両面テープ (リヤガラス用) を貼り付ける。



- 3 マウントベースをリヤガラスに貼り付ける。



配線方法 <単体で使用する場合>

⚠ 注意

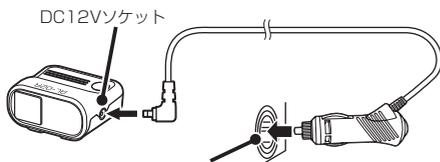
- ・本機にセルスター製以外のDCコードを取り付けしないでください。故障の原因となります。
- ・取り付け、配線は視界の妨げ、運転の妨げ、また車両の機能（ハンドル、ブレーキなど）の妨げにならないように注意し確実にこなしてください。
- ・エアバッグの近くに取り付けたり、配線したりしないでください。
- ・本体の取付場所、各コードの配線処理によっては、ノイズなどによる車両への影響、また周辺の電子機器の影響を受ける場合があります。
- ・コードを無理に曲げたり、つぶしたり、加工しないでください。
- ・オプションの直結配線DCコードを使用して配線をおこなう場合、ショート事故防止のため、あらかじめバッテリーの（-）マイナス端子をはずして作業をおこなってください。
- ・オプションの直結配線DCコードでの配線の場合には、確実に車のボディにアース接続してください。
- ・シガーライター用DCコードをアクセサリースOCKETから抜くときは、コードを引っ張らないでください。
- ・長期間車両を使用しない場合は、本機からDCコードを取りはずしてください。

アクセサリースOCKETから電源を取る

付属のシガーライター用DCコードのプラグをアクセサリースOCKETに接続します。

✓ アドバイス

一部の車種において付属のシガーライター用DCコードが、アクセサリースOCKETの形状と合わない場合があります。



車両のアクセサリースOCKET

✓ アドバイス

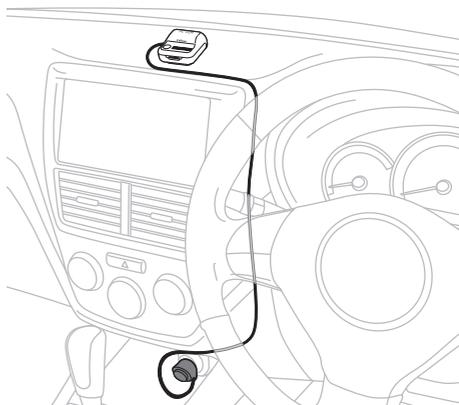
パワー（イグニッション）スイッチをオンにして本機の電源が入らない場合は、以下の点を点検してください。

- ・コード類の接続
- ・車、またはDCコード内のヒューズ

配線処理

コード類は運転の妨げとならないように配線処理してください。余分なコード類はビニールテープなどでしっかり束ねてください。コード類を表面に出したくない場合は、ガラスと内張りなどの隙間やパッキン類の隙間に入れます。

配線例：ダッシュボード設置



⚠ 注意

- ・配線の際、エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業をおこなってください。また、エアバッグの内蔵されている部品などを外さないでください。必要な場合には、必ずカーディーラーの指示を受けてください。コードが可動部分に挟み込まれたり、無理に曲げたりしないように配線処理してください。
- ・コードを車のダッシュボードなどに固定した場合は、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、コードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。十分ご注意ください。

ヒューズが切れた場合

ヒューズ（1A）を交換します。



シガーライタープラグ

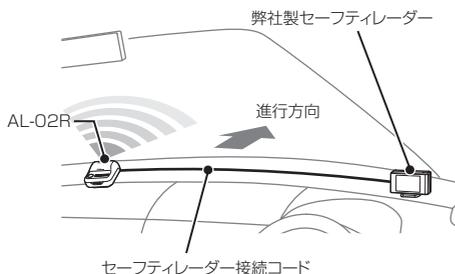
配線方法 <セーフティレーダーに接続・前方で使用する場合>

本機を弊社製セーフティレーダーに接続して前方に取り付け、レーダーを受信すると「レーザー式オービス」を警告できます。

- 本機とセーフティレーダーを接続する場合、ドライブレコーダーを同時につなぐことはできません。
- レーザー警告は本機でおこないます。
- 後方レーダー対応セーフティレーダーに接続して、前方設置した場合、セーフティレーダー上で本機のレーザー警告をおこないます。

取り付けイメージ

電源はセーフティレーダーから供給されます。



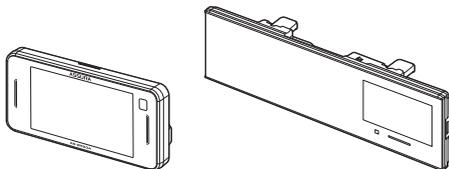
準備

本機能を使用するには、弊社製相互通信対応セーフティレーダー（別売品）が必要です。

- 弊社製相互通信対応セーフティレーダー

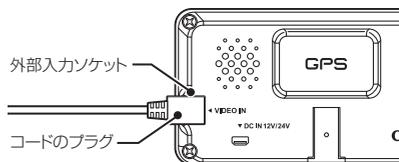


※相互通信対応セーフティレーダーは、左のアイコンを目印にお買い求めください。

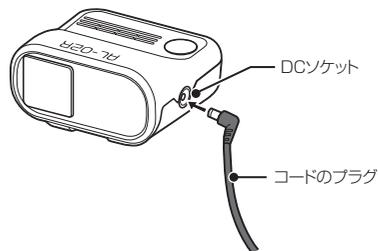


セーフティレーダーとの接続

- 1 付属のセーフティレーダー接続コードをセーフティレーダーの外部入力ソケットに差し込む。



- 2 セーフティレーダーの電源をONにする。
- 3 セーフティレーダー接続コードのプラグを本機のDCソケットに接続する。



- * 後方レーダー対応セーフティレーダーに接続して、後方警告の動作になる場合、本機の設置方向設定を前方に変更します。なお、セーフティレーダーのレーザーアンテナでは受信できなくなります。【P11】

⚠ 注意

- セーフティレーダーと接続する際はレーダー側の「外部入力設定」を「OFF」に設定しないでください。電源供給されなくなり使用できません。
- セーフティレーダー接続コードは12V車専用です。24V車に接続した場合、本製品を取り付けないでください。故障の原因となります。
- セーフティレーダー接続コードを改造し使用すると、故障の原因となります。
- セーフティレーダー接続コードのケーブルは地デジのアンテナ部分（ブースター及びアンテナ線）に接触しないよう、できるだけ離して配線してください。

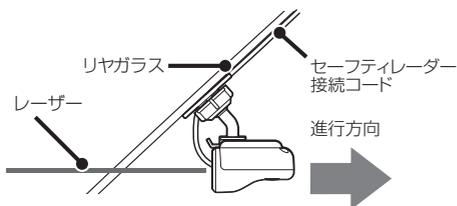
配線方法 <後方レーザー対応セーフティレーダーに接続・後方で使用する場合>

本機を弊社製後方レーザー警告対応セーフティレーダーに接続して後方に取り付け、設置方向設定を後方に設定し、後方レーザーを受信すると、セーフティレーダー上で警告できます。

- 本機とセーフティレーダーを接続する場合、ドライブレコーダーを同時につなぐことはできません。
- 本機の設置方向設定を後方に変更してください。

取り付けイメージ

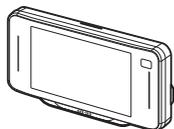
電源はセーフティレーダーから供給されます。



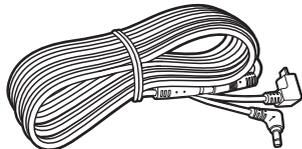
準備

本機能を使用するには、弊社後方レーザー警告対応セーフティレーダー（別売品）とオプションのセーフティレーダー接続コード（R0-123）が必要です。

- 弊社製後方レーザー警告対応セーフティレーダー

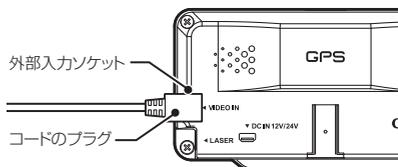


- オプションのセーフティレーダー接続コード（R0-123）

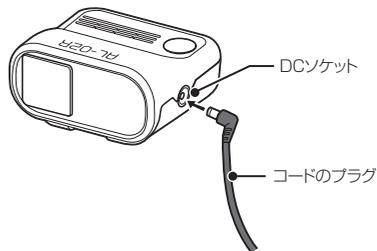


セーフティレーダーとの接続

- 1 オプションのセーフティレーダー接続コード（R0-123）をセーフティレーダーの外部入力コンセントに差し込む。



- 2 セーフティレーダーの電源をONにする。
- 3 オプションのセーフティレーダー接続コードのプラグを本機のDCソケットに接続する。



* 本機の設置方向設定を後方に変更します。【→P11】

⚠ 注意

- セーフティレーダーと接続する際はレーダー側の「外部入力設定」を「OFF」に設定しないでください。電源供給されなくなり使用できません。
- セーフティレーダー接続コードは12V車専用です。24V車に接続した場合、本製品を取り付けないでください。故障の原因となります。
- セーフティレーダー接続コードを改造し使用すると、故障の原因となります。
- セーフティレーダー接続コードのケーブルは地デジのアンテナ部分（ブースター及びアンテナ線）に接触しないよう、できるだけ離して配線してください。

操作方法

電源を入れる

- 1 パワー（イグニッション）スイッチをオンにして車を始動する。
- 2 自動的に電源が「ON」になる。
オープニング動作後、待受状態（LEDランプが緑色に点灯）になります。



オープニング動作は設置方向設定により異なります。

設置方向	LEDランプ	動作音
前方	赤色点滅	♪ビビ
後方	青色点滅	♪ビビビビ

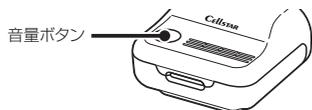
設置方向設定の変更

* 工場出荷時は、設置方向設定が前方になっています。

- 1 パワー（イグニッション）スイッチをオンにして車を始動する。
- 2 本機の音量ボタンを押しながら、DCコード（セーフティレーダー接続コード）を差し込み、電源を「ON」にする。



- 3 5秒以内に音量ボタンを離す。



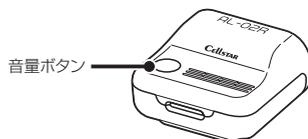
- 4 設置方向設定が変更され（前方⇄後方）、本機が起動する。

電源を切る

車のパワー（イグニッション）スイッチがオフになると本機の電源も自動的に「OFF」になります。

音量の調整

本機のスピーカから出力される音量を調整します。
待受状態で**音量ボタン**を短押しするたびに音量がきりかわります。



工場出荷時は、音量は「4」に設定されています。
音量ボタンを短押しすることにより [4⇒5⇒6⇒7⇒0 ⇒1⇒2⇒3] の順にきりかわります。

警告音のミュート

レーザーの警告中に警告音をミュート（消音）します。

- 警告動作中に**音量ボタン**を長押し（1秒）する。
ミュート中、レーザーの受信がなくなった時点で、ミュート機能は自動的に解除されます。

LEDオフ設定

LEDランプを点灯または消灯するかを設定できます。
待受状態で**音量ボタン**を長押し（3秒以上、10秒未満）で設定がきりかわります。車両のインナーミラー裏に設置する場合、LEDをオフ（消灯）に設定してください。

- * 電源OFFしても設定は残ります。
- * 初期値は「オン（点灯）」
- * 音量ボタンを10秒以上長押しすると、警告動作の確認機能になります。

LED オフ設定	LED ランプ	動作音
オン	緑色点灯	♪ポビッ
待受 LED オフ	消灯	♪ビポッ
待受&警告 LED オフ	消灯	♪ビポポッ

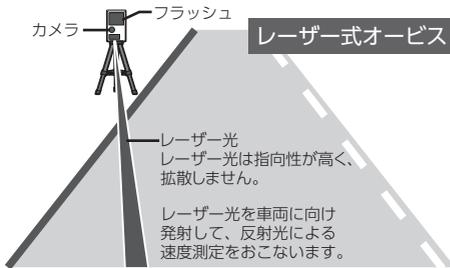
警告動作の確認機能

待受状態で**音量ボタン**を長押し（10秒以上）押すと、実際のレーザー受信時の警告動作を確認することができます。確認中に音量ボタンを短押しすると終了します。

レーザー受信について

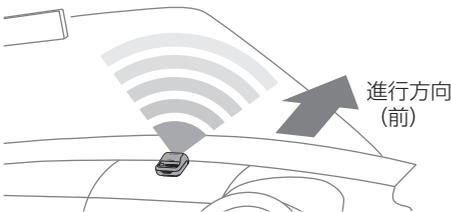
レーザー受信に関する注意事項

- 本体のレーザー受信部と取締機のレーザー光源を結んだ直線上に遮蔽物が存在すると受信できません。
- 次の場合、取締機のレーザー光が受信できない、または受信が遅くなる場合があります。
 - ・取締機が直接視界に入らない形状の道路を走行中のとき。
 - ・自車の前方に、車両、バイク、自転車や車道に飛び出した街路樹などが存在するとき。
 - ・本体のレーザー受信部に朝日や西日などが直接入射しているとき。
 - ・過度な悪天候のとき（豪雨や大雪、濃霧など）。
 - ・降雪時、ワイパー動作で拭拭されない領域により本体のレーザー受信部が隠れるとき。
 - ・レーザー光を使用した車両検知器や衝突回避システムなど安全運転支援装置を装着した車両に近づいたとき。



レーザー警告動作（前方設置）

本機をダッシュボードなどレーザー光を受信しやすい視界の良い場所に設置してください。



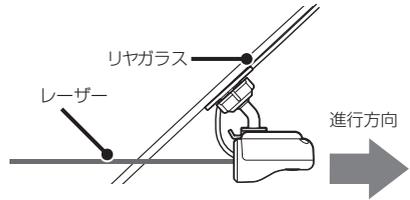
レーザー式オービスからのレーザー光の受信状況を元に、受信レベルを2段階（強、弱）で判定して、**LEDランプ**と音声（レーザーを受信しました）、効果音の強弱で警告します。

* レーザー光からレーザー式オービスの設置位置や距離を特定することはできません。

受信状況	LED ランプの動作
待機状態	緑色点灯（または消灯）
レベル（強）	赤色点滅（早い）
レベル（弱）	赤色点滅（遅い）

レーザー警告動作（後方設置）

本機をリヤガラスなどレーザー光を受信しやすい場所に設置してください。



後方からのレーザー光の受信状況を元に、受信レベルを2段階（強、弱）で判定して、**LEDランプ**と音声（レーザーを後方受信しました）、効果音の強弱で警告します。

* レーザー光からレーザー式オービスの設置位置や距離を特定することはできません。

受信状況	LED ランプの動作
待機状態	緑色点灯（または消灯）
レベル（強）	赤色点滅（早い）
レベル（弱）	赤色点滅（遅い）

本機を後方レーザー警告対応セーフティレーダーと接続した場合の動作

セーフティーレーダー上で警告画面と音声の警告をおこないます。本機で警告動作はおこないません。
*待受け状態のまま



「レーザーを後方受信しました」

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。
また、弊社ホームページのよくあるご質問（FAQ）を参照してください。
<https://faq.cellstar.co.jp/>



症状	考えられる原因
電源が入らない (本機単体でご使用時)	<ul style="list-style-type: none">・DC12Vが入力されていますか。・本体とDCコードが外れていませんか。・シガーライター用DCコードのヒューズが切れていませんか。
電源が入らない (弊社製相互通信対応セーフティ レーダー接続時)	<ul style="list-style-type: none">・セーフティレーダー接続コードが外れていませんか。・セーフティレーダーの電源が「OFF」になっていませんか。・セーフティレーダーの「外部入力設定」が「OFF」になっていませんか。
レーザーが反応しない	<ul style="list-style-type: none">・本体のレーザー受信部と取締機のレーザー光源を結んだ直線上に遮蔽物が存在すると受信できません。・次の場合、取締機のレーザー光が受信できない、または受信が遅くなる場合があります。<ul style="list-style-type: none">・取締機が直接視界に入らない形状の道路を走行中のとき。・自車の前方に、車両、バイク、自転車や車道に飛び出した街路樹などが存在するとき。・本体のレーザー受信部に朝日や西日などが直接入射しているとき。・過度な悪天候のとき（豪雨や大雪、濃霧など）。・降雪時、ワイパー動作で払拭されない領域により本体のレーザー受信部が隠れるとき。・レーザー光を使用した車両検知器や衝突回避システムなど安全運転支援装置を装着した車両に近づいたとき。・本機の設置場所と設置方向は合っていますか。

仕様・定格

■ 本体

- ・電源電圧 : DC12V
- ・動作温度範囲 : -10℃～+65℃
- ・サイズ : 41 (W) ×38 (D) ×23.8 (H) mm
 - *突起部除く
- ・重量 : 18.5g

* 改良などのため、本機の仕様・定格などを変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

修理に関して

■ 修理に必要なもの

- ・取扱説明書（保証書欄、修理受付票記入）
- ・修理する製品

■ 保証書と修理受付票のご記入に関して

保証書期間中

本書裏表紙の保証書と修理受付票に必要事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。保証書の規定に従って無料で修理および調整させていただきます。

- * ご注意：保証書期間中であっても有償修理となる場合がございますので保証規定をよくお読みください。保証書の所定事項（製品名、お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合は、有償修理となります。保証書期間中であっても、部品入手不可能により修理ができなくなる場合があります。

保証期間が過ぎているとき

修理受付票に必要事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。

■ 修理受付票に関して

ダウンロードをご希望のお客様

インターネットブラウザより以下のアドレスにアクセスしてください。

（修理受付票PDFダウンロード：48KB）

https://www.cellstar.co.jp/products/customer/repair_card.pdf

■ 修理をご依頼される前に

1 弊社ホームページ「お客様サポート」→「よくあるご質問（FAQ）」をご確認ください。

2 弊社ホームページに修理金額の目安が記載されています。事前にご確認ください。

https://www.cellstar.co.jp/customer/repair_price.pdf

- * ご依頼内容の確認のため、記入後必ずコピーを取りお客様控えとしてお手元に保管してください。
- * セルスター工業アフターサービスへ修理品をご送付いただく際、迅速かつ適切な修理をおこなうため、本書裏表紙の保証書と修理受付票に必要事項をご記入の上、製品に添付してください。
- * 修理品などをお送りいただく際の送料に関しては、お客様負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 名称、所在地、電話番号は変更される場合があります。ご確認ください。

■ 修理の流れ

1 ご不明な点は、弊社カスタマーサービスにご連絡ください。

 0570-006867（ナビダイヤル）

 0120-75-6867（フリーダイヤル）

【受付時間】 9：00～18：00

（土・日・祝日および、弊社休業日を除く）

携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用にされない場合:0570-006867

- * 修理する製品、保証書をお手元にご用意の上でおかけになるとスムーズにご相談いただけます。

2 修理品の送付先
セルスター工業 アフターサービス
〒518-1145
三重県伊賀市安場 1608-5
TEL. 0120-75-6867

お客様へのお願い

- * 修理・点検作業の際、本機は工場出荷状態にもどります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。
- * 保証期間の有無に関わらず、送料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 運送中の衝撃などに耐えられるよう、梱包をお願いいたします。
- * 運送中の破損紛失などについては、弊社では一切の責任を負いかねます。
- * 有償修理作業完了後、代金引換便にてご返送させていただきます。（処分依頼はお受けいたしませんので、ご返却させていただきます）

個人情報の利用目的について

本機に対するお問い合わせや修理をご依頼される場合の個人情報は次の目的のみ利用されます。

- ① 弊社製品・サービスに関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するため。
- ② 製品の企画、開発、販売促進、営業活動にお客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするため。

ご依頼される前に必ず取扱説明書（本書）をお読みいただき、修理受付票と、裏表紙の保証書にご記入の上、修理依頼品と一緒に添付してお送りください。

お客様ご記入欄

お客様名：		ご住所：□□□□-□□□□□□	
ご自宅電話番号：			
FAX番号：			
日中ご連絡可能な電話番号： <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> ご勤務先 <input type="checkbox"/> その他（　　）			
ご購入日：	お見積り連絡： <input type="checkbox"/> 不要 / <input type="checkbox"/> 必要（　　）円以上の修理の場合に連絡 ※不要を選択の場合、お見積もりの連絡はいたしません。なお、お見積り金額に関わらず、修理させていただきます。		
同梱した付属品：合計（　　）点	具体的な症状： <input type="checkbox"/> 常に発生する <input type="checkbox"/> 時々発生する <input type="checkbox"/> 特定の条件で発生する できるだけ詳しくご記入ください。		
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
修理品返却先 ※上記住所以外への返却の場合にご記入ください。			
お客様名：		ご住所：	
ご自宅電話番号：			

保証書

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ
お受け取りになり、保証内容をよくお読みのと、大切に保管してください。

本証は、弊社の厳密な検査のもと生産、出荷されたものであることを証明し、本証の保証期間内に正常な使用状態において故障した場合には、本証記載内容のとおり無料で修理および調整をおこなうことをお約束するものです。修理をご依頼する際には修理受付票【➡P15】も併せてご記入ください。

製品名：AL-02R	お買い上げ年月日： 年 月 日
販売店様 ※必ず、ご記入ください。	保証期間 3年 お買い上げ 年月日から 3年間有効
ご住所：	
お電話：	



以下の場合には保証の対象外となります。

- ①本製品に付属の取扱説明書に記載された使用方法や注意事項に反した取扱によって生じた故障・破損
- ②誤用・乱用および取扱不注意による故障
- ③火災・地震・風水害・落雷・その他天災地変や公害・塩害・水掛かり・異常電圧による故障
- ④不当な修理に起因する故障や、分解・改造の痕跡がみられる故障
- ⑤使用中に生じた傷など外観上の変化
- ⑥保存状態が適切でなかった場合
- ⑦業務目的でご使用になった場合
- ⑧消耗品および付属品の交換
- ⑨本証の提示がない場合
- ⑩本証の所定事項（お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合

- ・取付不良、接続不良、不適切な使用状態による車の故障や事故などの附随的損害の補償については一切この責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- ・本証は日本国内においてのみ有効です。また本証の再発行はいたしませんので大切に保存ください。

修理・点検をご依頼される際の注意事項

設定の記憶やお客様が情報を登録できる製品につきまして、修理・点検作業の際、本製品は工場出荷状態にもどります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。

販売店様へのお願い 保証書欄にお買い上げ年月日、店名、ご住所、お電話番号をご記入の上、お客様へお渡しください。

お客様相談窓口

■電話でのお問い合わせ

<個人のお客様> カスタマーサービス
[受付時間] 9:00～18:00(土・日・祝日および、弊社休業日を除く)

 **0570-006867** (ナビダイヤル)

☎ 0120-75-6867 (フリーダイヤル)
携帯電話 PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用になれない場合：0570-006867

<法人のお客様> セルスター工業株式会社 本社 (代)
[受付時間] 9:00～18:00(土・日・祝日および、弊社休業日を除く)
TEL.046-273-1100 (代) / FAX.046-273-1106

■メールでのお問い合わせ

弊社ホームページのよくあるご質問 (FAQ) より質問を送信してください。
<https://faq.cellstar.co.jp/>



セルスター工業 拠点一覧

- 北海道地区 **札幌営業所**
〒004-0842 北海道札幌市清田区清田二条3-2-1
TEL.011-882-1225 (代) / FAX.011-881-7251
- 東北地区 **仙台営業所**
〒981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字原田158
TEL.022-218-1100 (代) / FAX.022-218-1110
- 北関東・新潟地区 **水戸営業所**
〒310-0903 茨城県水戸市堀町795-2
TEL.029-254-6911 (代) / FAX.029-255-1420
- 関東地区 **本社**
〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-29
TEL.046-273-1100 (代) / FAX.046-273-1106

- 東海・北陸地区 **名古屋営業所**
〒453-0021 愛知県名古屋市中村区松原町5-7-1
TEL.052-307-5733 (代) / FAX.052-307-5737
- 関西・中国・四国地区 **大阪支店**
〒562-0004 大阪府箕面市牧落3-8-7
TEL.072-722-1880 (代) / FAX.072-722-5575
- 九州・沖縄地区 **福岡営業所**
〒811-1314 福岡県福岡市南区的場二丁目15番16号
TEL.092-588-1101 (代) / FAX.092-588-0057

名称、所在地、電話番号は変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

[全国自動車用品工業会会員] [一般社団法人ドライブレコーダー協議会会員]
[一般社団法人日本自動車部品工業会会員] [東京都自動車部品組合会員]

<https://www.cellstar.co.jp>

CELLSTAR

セルスター工業株式会社